

心をもつて始めました。その第一回は縣下中等學校リーグ戦であります。最初の此れを血祭りにと猛練習をやりました。そして其の第一回は長濱商業とでありました。

縣下リーグ戦の記

第一回戦、對長濱商業

我々は新チーム編制以來最初の試合とて慎重に戦つた。

球場長濱商業、長商先功、後一時十六分開始

第一回【長商】北川則中堅右を抜く二壘打に出でし、中島三振、東城一壘エラーに出で北川則三進す。北川春打者の時東城盗塁せしも北川春三振、二橋三壘ゴロにチェンザ

【彦中】上杉弟捕手前にバードせし捕手の好守にはまらる。續く若林馬場四球に出で、安居三壘フライの二死後、川村中堅右を抜く二壘打に若林、馬場續いて生還二点を擧ぐ。續く上杉兄も四球に出でなほチャンスに見えしも森田二壘フライに空し。然し一回目早くも二点を擧げ

二回【長商】大橋一壘エラーに生き、續く阪東四球にランナー二壘の時横田、宮川凡打

して二死になりしも、北川則の中堅越えの三壘打に二者還へ、り中島も又三壘費を抜く安打に、北川則還へり、三番東城も遊三間の安打に二壘となりしも中島投手牽制にかかりチェンザになりしも一点をリードさる

【彦中】一点を挽回せんものさ、大いに振ひたち先づ大日方四球に續く太田三壘ゴロを放ちて、三壘ボールを取つて二壘に投げしも、二壘落して兩者生きチャンス濃厚なる。上杉弟左翼フライに一死後、若林左翼前安打に出で、馬場のサードゴロに大日方ホーム寸前で殺されしが其の間に夫々進塁し、安居の左翼前安打に二者生還し又二点を擧ぐ。次打者川村四球に走者一二壘になりしも上杉兄三壘ゴロに安居ホームアウトされ、猛攻撃も終る

三回【長商】大日方投手の好投に三者凡退【彦中】森田三壘ゴロ、大日方三振、太田遊撃ゴロに凡退す

四回【長濱】阪東打者第一球をチツアせし時太田捕手指をつき退場し、森田捕手となり、内野中堅に入る。阪東三ゴロ、横田一壘ゴロ宮川遊撃ゴロに凡退【彦中】三者凡退

五回【長商】三者凡退

なし

二回【彦中】森田ネバツタあげく四球に出でしも後援續かず

【彦商】三者凡退

三回【彦中】上杉弟二飛若林投捕後安居遊撃失に出でし川村二飛

【彦商】上川左飛中田三振井上遊撃に三者凡退

四回【彦中】上杉兄四球に出しも後援續かず

【彦商】谷口四球に出しも後援續かず

五回【彦中】馬場左翼左を抜く三壘打に出で上杉の左翼前安打に還りなほ有望に見えしが應援空し

【彦商】田中捕邪飛で一死後久木の投捕一壘失に二進し、上杉二壘に止んだが走者進塁し土川の遊撃越の安打に還へり一点を取られしも田中を三振に打取る

六回【彦中】上杉兄四球に出で森田のライト前安打に三進し、右翼からの反球を三壘、失する間に生還また一点を上げ、なほ有望に見えしが後援空し

【彦商】一死後谷口四球に出で二盗成功、丸山も四球を選んで出で寺井の遊撃失に二者生還バックホームの間に寺井二進せしが田中三壘久木三振し二点に喰ひ止む

【彦中】先づ安居左翼前安打に出でしが、川村の三壘ゴロに封殺さる。上杉兄四球にランナー一二壘の時、森田の左翼安打に満塁續き大日方のレフト越大三壘打に走者を一掃す。續く門野の四球に一三壘の時、門野盗塁し、上杉弟も又四球に満塁、次打者若林三遊間安打に二者生還し、上杉弟三進、馬場打者の時、若林盗塁、馬場の三壘左を抜く安打に、上杉弟生還、若林三進し、馬場直に盗塁安居の右翼前安打に二者生還す。川村の捕手前のゴロにて進塁せしが、上杉兄のショートフライにさしもの猛攻撃も終る。此回八点を擧ぐ

六回【長商】四番北川春、三壘ライナーで一死後三橋中堅オーバリーの二壘打に出で、大橋の三壘ゴロ一壘エラーに三進し、阪東打者の時大橋二盗、阪東四球に満塁のチャンスありしも横田三振、宮川二壘ゴロに阪東封殺されて入らず

【彦中】三者凡退
七回【長商】三者凡退
八回【長商】三者凡退

【彦中】安居四球に出で、川村の遊撃ゴロ上杉兄の三壘ゴロに三進し、森田の右翼越の二壘

七回【彦中】先づ上杉弟中堅越の三壘打に出で、若林投捕に止めしが、安居の中堅前安打に生還、川村の三壘打に安居も還り、上杉兄の左飛に二死となりしも、森田の右前安打に川村も還り門野の遊撃に止む

【彦商】上杉投捕、土川一飛田中二壘に無爲

八回【彦中】大日方左飛、馬場三振の後上杉弟四球、若林内野安打に出で有望に見えしが安居遊撃して得点無し

【彦商】井上二壘尖に出で、一死後丸山、寺井四球に一死満塁となりしも、井上捕手の牽制球に刺された時丸山も二壘ベースを離れたので三壘より二壘に球は送られて、丸山ベース上に死す。一死満塁ピンチも彦中の好守にはむ

九回【彦中】川村三振繕上杉兄三遊間安打して出たが、森田遊撃して二死、門野四球に一三壘になりしも大日方投捕に空し

【彦商】三者凡退
かくして第二回戦も無事彦商を死むる
第三回戦 對彦工 十月五日 彦中球場
一回【工】寺澤遊撃左を抜く安打に出でしが渡邊、北村三振、宮西右飛に得点なし
【本校】馬場捕手前の内ゴロに一死、上杉弟右

打に生還し、大日方遊撃ゴロにチェンザ。此回又一点を擧ぐ

九回【長商】阪東一壘フライ、川村中堅右を抜く二壘打に若林、馬場續いて生還二点を擧ぐ。續く上杉兄も四球に出でなほチャンスに見えしも森田二壘フライに空し。然し一回目早くも二点を擧げ

二回【長商】大橋一壘エラーに生き、續く阪東四球にランナー二壘の時横田、宮川凡打

【彦中】上杉弟捕手前にバードせし捕手の好守にはまらる。續く若林馬場四球に出で、安居三壘フライの二死後、川村中堅右を抜く二壘打に若林、馬場續いて生還二点を擧ぐ。續く上杉兄も四球に出でなほチャンスに見えしも森田二壘フライに空し。然し一回目早くも二点を擧げ

二回【長商】大橋一壘エラーに生き、續く阪東四球にランナー二壘の時横田、宮川凡打

【彦中】上杉弟捕手前にバードせし捕手の好守にはまらる。續く若林馬場四球に出で、安居三壘フライの二死後、川村中堅右を抜く二壘打に若林、馬場續いて生還二点を擧ぐ。續く上杉兄も四球に出でなほチャンスに見えしも森田二壘フライに空し。然し一回目早くも二点を擧げ

二回【長商】大橋一壘エラーに生き、續く阪東四球にランナー二壘の時横田、宮川凡打

【彦中】上杉弟捕手前にバードせし捕手の好守にはまらる。續く若林馬場四球に出で、安居三壘フライの二死後、川村中堅右を抜く二壘打に若林、馬場續いて生還二点を擧ぐ。續く上杉兄も四球に出でなほチャンスに見えしも森田二壘フライに空し。然し一回目早くも二点を擧げ

二回【長商】大橋一壘エラーに生き、續く阪東四球にランナー二壘の時横田、宮川凡打

【彦中】上杉弟捕手前にバードせし捕手の好守にはまらる。續く若林馬場四球に出で、安居三壘フライの二死後、川村中堅右を抜く二壘打に若林、馬場續いて生還二点を擧ぐ。續く上杉兄も四球に出でなほチャンスに見えしも森田二壘フライに空し。然し一回目早くも二点を擧げ

33	13	10	6	3	11
打点	安	盜	殺	死	
34	3	5	1	8	3
3	5	1	8	3	2

商	5	6	3	3	7	8	4	9	1
川	則	島	城	春	橋	橋	東	田	川
長	北	中	東	北	三	、	阪	横	宮

第二回戦、對彦商、彦中球場九月二十九日

一回【彦中】馬場中堅前安打に出で、直に二盗、上杉弟三振若林一壘に二死となりしも、安居打者の時三盗成功し、安居の右翼前安打に生還し早やくも一点を擧ぐ。川村打者の時安居二盗、三盗に成功し、川村四球に出で直に二盗して走者二三壘なりしも、上杉兄三振して一点で止む

【彦商】谷口投捕、丸山遊撃寺井三振して得点

飛若林三直に凡退

【二回】若林左前安打にまた、無死走者出でしも、彦中の守備陣固し、加古、中島三振、幸野投備

【本校】安居、上杉兄共に四球に出で、川村の打者の時重盗成功、川村左前安打に二者生還森田の左前安打に川村三進、門野打者の時、森田盗成功、四球に満塁となり、大日方の投備に川村封殺されしが捕手一壘へ悪投して森田、門野生還大日方二進、馬場スゴールマ

ストライクの次の好球を見逃し三振かと思はれしが、捕手ごうしたのか少し横にはぢく間に大日方三進、馬場一壘に生く、直に二盗、續く上杉弟右前に安打と思はれる様なライナーを打ちしも右翼手北村よく捕る、此の時馬場安打と思ひしが三壘の方に走つてゐたので右翼より二打にリレーされ重殺さる、しかし此の回本校の打棒よく振ひ一擧四點を擧ぐ

【三回】中川三壘失に出壘續く寺澤も三壘失一、二壘、渡邊左前安打に無死満塁となりしも、北村、宮西三振し若林右飛に本校よく危機を脱す

【本校】若林左前安打、安居の右翼左を抜く二壘打に、若林生還、上杉兄打者の時安居

【虎中】中川三壘、北川一飛、西村四球に出でしも馬場の遊備に封殺さる

【二回】本校 安居三遊間安打に出で二盗、上杉兄の三壘一壘失に一三壘、川村打者の時上杉兄二盗、川村の遊備に安居本壘をついて殺さる、其の間に上杉兄三進し、森田打者の時川村二盗、森田の右前安打に二者生還、門野四球に二壘になりしも、大日方の三壘に森田三封され、上杉弟遊飛に終りしも早くも二點をあぐ

【虎中】香水三振、北村三振、川上三振の無爲打に二進、安居遊備し若林封殺される間に三進、安居二盗成功、上杉兄の左翼左を抜く本壘打に生還また、三點をあぐ、川村三壘、森田投備

【虎中】中村三振清水投備二死後、中川中前安打北川右前安打に出で西村の左翼越の本壘打に生還、馬場三壘

【四回】本校 門野左前安打、大日方四球上杉弟の三壘右を抜く安打に無死満塁となり、馬場の遊撃越の安打に、門野、大日方生還する間に上杉弟三進、馬場二進し、若林の左前安打に二者生還、若林二進し安居の中堅右の二

三盗、上杉兄の中飛に生還す、川村左飛後森田中前安打に出でしも門野遊備、然しながら又二點を擧げて意氣上がる

【四回】加古投直、中島二壘失に出でしも幸野投備中川遊飛に無爲

【本校】大日方馬場四球に出で、上杉弟打者の時重盗ならず、大日方三壘に殺さる、上杉弟若林兩者左飛

【五回】寺澤中飛後、渡邊四球に出でしも北村の二壘に封殺され宮西投備

【本校】安居左前安打に出で上杉兄の左翼越の三壘打に生還、上杉兄も川村の左翼左の二壘打に生還す、森田、門野遊備二死後、川村三盗、大日方四球に出で直に二盗し、馬場の中堅前安打に川村生還、大日方進壘、馬場二盗上杉弟の左前安打に兩者生還、上杉弟二盗、若林四球に又も一二壘の重盗なり、上杉弟は捕手の悪投に生還せしが、若林左飛よりの好返球に三壘に残さる

【六回】三者凡退

【本校】安居投備後、上杉兄三壘失に出で直に二盗、川村の左前安打に生還、川村は左翼よりの悪返球に三進、森田四球に出壘直に二盗門野の遊備失に川村生還、大日方の左前安打

壘打に生還し上杉兄打者の時安居三盗せしも上杉兄三振、川村、森田投備に残壘せしが此回また五點をあげ大勢決す

【虎中】香水三振、北村遊撃越の安打に出でしも二盗に殺さる、川上三振して無爲

【五回】本校 門野、大日方四球に出で、上杉弟の投前機打に進壘、馬場打者の時、捕手のパスボールの門野生還し、大日方三進せしが馬場三直、若林遊飛に終る

【虎中】中村一壘、清水左前安打に出でしも、中川の投備に封殺さる、北川の死球に一二壘となりしも西村の遊備に北川封殺さる

【六回】本校 安居セーフタイバントに出でしも二盗ならず、上杉兄三振、川村投備

【虎中】馬場投備香水左飛に二死後北村中前安打に出でしも川上三振

【七回】本校 三者凡退

【八回】本校 上杉弟四球に出で馬場の投備一失に三進、馬場二進し一死後安居の左前安打に二者生還、上杉兄四球に一二壘の時、捕手のパスボールに進壘し川村の遊備に安居生還上杉兄三進、森田四球に出で直に二盗せしが門野に變る太田投備

に一死満塁、馬場、上杉兄の四球に森田、門野押出され、若林の三壘に馬場封殺される間に大日方生還、安居三飛に終りしもよく打ち又々五點をあげ大勢決す

【七回】三者凡退

【本校】上杉兄四球に出で二盗、三盗し、川村の左飛に生還、森田四球に出でしも、二盗に殺さる、門野三振

【八回】此の回より本校、馬場投手、菅井右翼上杉阿二壘、江畑三壘、瀧川一壘に入り、若林、安居、川村、大日方退く、渡邊四球に出でしが、北村の遊備に封殺、宮西の右飛失に三進、若林死球に満塁となりしが、加古の投備に北村本封、若林二壘を出過ぎて捕手の好投に殺さる

【本校】瀧川二飛、馬場遊備、上杉弟四球に出で二盗、捕手のパスボールに三進し、菅井打者の時本盗に成功、菅井四球に出でしが上杉阿二飛

【九回】三者凡退

【第四回戦】對虎中 十月六日 彦中球場 本校先攻 午後一時五十分開始 球審中屋 壘審寺澤 一回【本校】上杉弟遊備、馬場三振若林遊備

【虎中】此回より太田右翼に入り門野退く、北川右前安打に出でしも、西村二飛、馬場の投備に北川封殺され、香水二壘

【九回】本校 大日方投備上杉弟三壘、馬場三振

【虎中】北村、川上、中村三者安打に續き、清水三振せしも、中川の右前安打に北村生還、北川の二壘失に川上、中村相次いで生還、西村四球に走者一二壘の時馬場三振し、中川捕手の牽制に殺され三點で喰ひ止むかくして虎中をも十四對六で葬り、決勝戦に出場する資格を得



●庭球部々報

昭和十年五月十二日高商に於て第十二回近府縣中等學校庭球大會が開催され我が庭球部池田馬場組、木村植田組の二組これに参加すこの日池田が棄權のため木村これにかわりて出場四年組は旅行より歸りて翌日なりしたためその勢ふるはず二組も一回戦にて惨敗す、そのスコアは次の如し。

彦中 池田 1 中木 京師 2
馬場 No. 0 磯部 No. 2
彦中 木村 2 八里 栗農 1
植田 No. 3 奥村 No. 1

十年八月二十七、八兩日にわたる全國中等學校庭球選手權大會の記(濱寺球場にて)春の近府縣大會に惨敗した怨をばらさんとし小山、田中庵野諸先輩の熱心なコーチを受け幾分の自信を持ち晴れの全國大會へ向つた此の日天氣非常に良く絶好のテニス日好なり

第一回戦 (一日)
シングルダブル共に不戦一勝
第二回戦 シングル

木村(本校) 6—1 日新商業
此の日本木の當り残り良くはなかつたが敵のみすに乘じ簡單に3—1にて勝つ。

第一回戦ダブル(三日)
本校(池田) 3—6 京一中
大會前二日の休息の爲幾分型をくすし又固くなりて最初3—0ミリドされ後3—3とすれども後半よりはかなく敗れ6—3にて敗退す。

第三回戦シングル
木村 1—6 龍田(姫路中)
三回戦にて木村も幾分固くなりて日頃の當りも出す一セットは1—6にて敗る二セットに入りても依然として好機を得ず3—6にてなしくも惨敗す、しかし三年の若輩を以て良く頑張り三回戦に参加せしは賞讃するに足る。

縣下中等學校庭球選手權大會 (栗農球場にて)
第一回戦シングル
本校 馬場 0—6 八商
木村 6—1 滋師
馬場の當り悪くはなかつたが強敵八商にあた

りしたため彼の奮闘も甲斐なく惨敗。
木村はよく戦ひて6—4にて滋師をけやぶり二回戦へ進む。

第二回戦シングル
木村 6—3 膳所中
木村四年生にかわりてよく頑張り6—3にて軽く勝ち準優勝へ
準優勝シングル
木村 1—6 栗農

準備勝にて前年ならびに今年の優勝者栗農にあたりたるため少しおちけしもよく一ゲームをこれり。
第一回戦ダブル
池田 4—6 八里 栗農 2
馬場 奥村 No. 2
本校 木村 6—0 膳所中
植田 6—3 八商 No. 2

この日四年組大いにふるはず三年組にゆづる木村植田組勝所を一蹴して二回戦へ進む。
第二回戦ダブル
二回戦もよく戦い樂に勝つ。
準備勝戦ダブル

競技部々報

かくして三年組はダブル、シングル共に準備勝戦にて敗れしは實に口惜しきことなれども三年の若輩にしてよく戦ひしは將來大いに有望にして今度新コートに落成と共に一層の努力を重ねれば來年度優勝は殆んど確實といふことを得べし。

- 部長 丸茂先生
理事 居井先生
小松原先生
- 部員
- | | | | |
|----|-------|-------|-------|
| 五年 | 西川 潔 | 加藤 澄 | 安澤哲雄 |
| | 杉山十三雄 | 本田豊一 | 保滋義三 |
| | 中村健藏 | 保坂仁吉郎 | 廣部智彰 |
| | 藤井莊六 | | |
| 四年 | 松林時雄 | 三上一夫 | 杉田一之 |
| | 川島隆夫 | | |
| 三年 | 照山圓壽 | 山口四郎 | 大橋善美雄 |
| | 島野正弘 | 山口彌三郎 | |
| 二年 | 寺村三郎 | 宮田勝藏 | 三谷信照 |

湖東陸上競技大會出場之記

曩に我部は幾多の名選手を出し、陽春四月を迎へて本年度のチームを編成す。部員一部二部共に不足なりしも部長丸茂先生の御指導厚く加ふるに部員の熱烈なる赤鬼魂の發露により愈々一層の發展を期すに至れり。

春の唯一の大會たる湖東大會に備へて、汗みざるになつて練習せり。
六月二十三日。此の日快晴にして實に絶好のコンディションなり。加ふるに会場は本校々庭なり。部員の意氣大いに奮ふ。先づ百米の豫戦より初まる。戦績左の如し。
トラツク
百米第一豫選 加藤 寺村
加藤力をセーブして二着。弱冠寺村良く頑張り三着で豫選を通過す。

二百米第一豫選 西川 松林
西川調子良く二着にてパス、松林奮闘せしも遂に及ばず豫選にて落つ。
八百米第一豫選 安澤 宮内
安澤決勝に備へて、力かセーブして走り、二着。宮内二年なるも良く走り二着に入り堂々決勝に残る。
四百米第一豫選 西川 照山
西川二百米競走の疲勞を物さませず、奮闘し良く三着に入り、照山亦良く三着に喰ひ込む。

百米決勝 加藤 寺村
加藤スタート良く前半良く出でしもラスト振はず惜くも二着。寺村亦良く走り五着に入る。得点七點
二百米決勝 西川
西川スタート稍遅れしがラストスパート良く三着に入る。得点四點
四百米決勝 西川 照山
西川再三の競走に非常に疲れしも、良くこらへて出場。前半良くトップを切つたが疲勞のため三着にて止みしも照山良く西川に續き四着なる。得点七點
八百米決勝 安澤 宮内

安澤スタートよりトツアを切り悠々他を離し一着にてゴールに入る。宮内もよく續き五着となる。得点八點

千五百米決勝 川島 本田
共に初陣なるも元氣に満ちて走る。前半本田、川島共によく出でしも本田後半きかず遂に七着になる川島其くラストをきかし四着となる。得点三點

一萬米決勝 山口 中村
共に初出場なるも其く先頭を切り、前半一團となつて進み、途中山口の靴が破れしものまゝ走りしが痛みのため五着となるも中村其く二着と殆んど胸一つで惜しくも三着となる。得点六點

八百米競走 西川 加藤 依光 寺村
西川スタートや、後れ、三着にて寺村に次ぐ、寺村そのまゝ加藤に次ぐ。加藤殆んど二着と同着で依光に次ぎしも依光遂に及ばず三着にて止む。得点四點

砲丸投決勝 依光 宮川
共に初陣にして、調子整はざるも其く投げ依光四等、宮川五等となる。得点五點
圓盤投決勝 杉山 藤井

我等の闘志を倍加せずには置かなかつた。

我等一同は丸茂先生、居井先生、小松原先生引率の許に大商ケラランドに到着した。左にそのベストを盡せし戦跡を記す。

トラック (一部) 決勝

八百米決勝 安澤其く頑張りしも四等にて止む (得点三點)

(二部) 決勝

百米決勝 寺村其く奮闘し優勝するかと思ひしが胸一つの差にて惜しくも二等となる然し豫選の時縣下新記録を作れり、レコード十二秒五 (得点五點)

二百米決勝 寺村獨特の力走効を奏し堂堂たる新記録を作り優勝す。レコード二十秒一 (得点六點)

八百米決勝 宮内走る走る得意のストライド見る者をして啞然たらしむ、安々に優勝す。内片其く宮内に續き五等となる宮内のレコード二分二十六秒七 (本大會新記録) 得点八點

八百米競走 勝力走目覺ましく優勝かと思ひしが惜しくも二等となる。
メンバー 三谷、北村、宮内、寺村 得点五點

杉山其く奮闘し三等に入る。藤井投げしも遂に及ばず。得点四點

槍投決勝 廣部 杉山
廣部平常の調子出でず六等となる。杉山良く投げしも及ばず。得点一點

三段跳決勝 三上 保藤
體力の差は遂に如何さししたがたく、三上やうやく六等になりしのみ。得点一點

棒高飛決勝 保坂 安澤
保坂平常の調子出でず遂に四等になる。安澤疲勞のため遂に六等になる。得点四點

走高飛決勝 田口 林
田口三年の弱冠なるも良く飛び二等となる林練習不足なりしが六等に喰ひ込む。得点七點半

四月以來猛練習を積み一路優勝を目指し我等は遂に八商の前に敗れたのである。總得点六一點半。愈々練習を勵み、必ず彦中の名譽を高めんことを我等は痛切に感じたり。

對彦商陸上競技會

七月二十日本校々庭に於て彦商と對校試合を催す。我部は其日西川主將の事故のため缺席及び廣部選手の出場のため闘志甚だ殺が

フィールド決勝 (一部)

槍投 藤井其く奮闘し五等となる (得点二點)

(二部)

砲丸投 岡用良く頑張り二等となる清水奮戦せしも等外なり (得点五點)

走幅跳 三谷、小倉共によく頑張り三谷二等小倉四等となる (得点八點)

走高跳 三谷、岡田共に良く奮闘せしが同じ記録にて止む (得点七點)

一部優勝校 濫賀師範 計八〇點

二等 八商 五八點

二部優勝校 彦根中學 計四四點

二等 今中 二九點

因に部の開設以來沈滞して振はざりし我が競技部は縣下に於て一躍三つの新記録を作り快勝せり。

これ榮え行く我が彦中競技部の前途を祝する合奏曲にあらずして何ぞ!! 幸あれ!!

彦中競技部!!

嗚呼!!! 天よ! 恵め!! すく〜と育ち行く我が彦中競技部の頭上に!!!

れし感ありしが良く奮闘して惜しくも敗る。得点左の如し。

一部 (三四五年)

彦中 三十九點 彦商 四十二點

二部は斷然本校優勝を示し全種目に優勝し遂に三十九點を得。彦商は僅かに一、二のみのみ。この競技部に於て二部宮内 (彦中) は八百米に於て縣下の記録を二秒近くも破つたのは偉なりと言ふべし。

縣下中等學校陸上競技大會出場の記

十月六日 快晴!

我等は雪解け初め、霞たなびく陽春四月以來春草萌ゆる金龜城下にて練習を重ね、炎熱を物ともせず、丸茂先生の熱心なる御指導の下に猛練習を致しました。

その涙ぐましき努力を誰が見捨てようぞ、我彦中競技部に輝かしい歴史が訪れました。

嗚呼、待ちに待つた戦の日は来た。

戦はんかな時機到る。我等の血は躍つた。

縣下に覇を唱へ彦中競技部史上に一大貢獻を齎すことを想ふに欣快の極であつた。

此の日快晴にしてコンデイション頗る良く

水泳部々報

近府縣中等學校競泳大會

彦根高商主催

於彦根高商五十米プール 六月二十三日

本年度最初の試合、昨年の恥辱をばらさん

とし四月來の練習と、力強き諸兄の御聲援を

以て會場に望む。二百リレーを以て試合は開

始せらる、強敵栗農、大垣商業、京都商業に

はさまり力泳せしもタツチの差にて破れ四位

タイム二分十四秒

(富士原、山原弟、福川、山原兄)

四百米自由型豫戦

A組 1 柳 橋 (栗太)

2 山原仁 (彦中)

3 近 藤 (彦商)

最初山原トツアに在りしがラストにて強豪柳

橋に破られ二位を得、決勝に進む。

B組 若輩西村始より頑張りしも縣下のナ

ンパトマン菅沼等に破られ四位にて落

ち。

C組 1 山原 (彦中)

2 上 村 (水中)

3 上 野 (栗農)

山原最初よりトップを切り強敵上村、上野を
壓倒してゴールイン。
百米自由型豫戦

- A 1林 (栗農)
 - 2岩木 (大垣商)
 - 3福川 (本校)
- 福川力泳し林、岩木と並びしも七十米にて林
の物凄きラストスパードよく他の二人を離し
タツチの差にて岩永に破らる。

B 若冠倉橋頑張りしも強敵北山(水中)
石田(栗農)の爲に破られ三位にて落つ

- 1兼松
- 2石玉
- 3富士原

富士原、石玉、兼松と平行して進みラストに
て破れ三位にて落つ。

二百米胸泳豫戦

A 新人内山力泳せしも練習不足の爲破ら
る。

B 吉川、梅田、中村の強敵の爲に破られ
三位にて落つ。

C 二服部頑張りしが力つきて破る。
八百米自由型豫戦

A 新家、棚橋、中野の強敵にはさまれ苦
る。

戦、四位に落つ。

B 山原忠、上村等を破りて堂々決勝に進
む。

C 朝見力泳せしも破らる。
二百米自由型豫戦

A 山原仁頑張りしも二位にて落つ。

B 富士原、磯谷、中野の爲三位に落つ。

O 西村、菅沼、北山の間に奮戦せしも
破らる。

三百米混合豫戦

本校チーム奮戦し京商を破りて決勝に入る
(山原忠、吉川、山原仁)

八百米リレー豫戦

京商を破りて堂々決勝に入る。(富士原、
山原仁、朝見、山原)

三百米混合泳決勝

山原、吉川、山原仁頑張りしも力つきて六
位にて止む。得点一点

八百米自由型決勝

我が彦中ナンバーワン山原忠スタートより
ダッシュにて栗太農の棚橋と接戦をなし二
百をターンするや棚橋のゆるみにつけ込み
得意のピッチにて五米を離し、次第に離れ
て六百に至るや二十五米の差となり七百の

ターンよりラストスパードに入り三十米を
離し堂々ゴールイン二着、タイム十一分四
十一秒。得点六点

四百米自由型

スタートより五十のターンに向つて同時に
突進、ターン終るや、栗農の菅沼、山原忠
棚橋(栗農)と山原仁もみ合ふ。二百のタ
ーンにて山原忠、菅沼に屈せられ五米離さ
れ、山原仁も棚橋に離さる共に苦戦に落ち
三百五十のターンをすぎると山原忠猛烈な
ラストスパードにて菅沼にせまりしが殘
念ながら二位にてゴールイン、山原仁頑張
りしも五位にて止む。得点五点

八百米リレー

一同(富士原、山原、朝見、山原忠)頑張
りて四位を得 得点三点
戦ひは終つた然し我々は四位を得、勝中に
勝をゆづらなかつたのはせめてもの慰みであ
つた。

湖東大會出場之記

先輩の名譽ある當大會歴史を受けつぎし我
等水泳部は昨年の惨敗の汚名を雪がんともの
母校の爲に堅き決心を以て高商プールに

戦へり、天氣晴明にしてコンディション甚だ
良し。成績次の如し。

百米自由型豫選 三等

トビベストフオース 一名

A組

- 一 磯谷(彦中) タイム一分十四秒
- 二 福川(商) 一分十九秒
- 三 西川(八商)

スタートより接戦續きで福川力泳し第二着に
て入選、片岡元氣に出場せしも残念慣れぬ爲
に練習の調子を發揮する能はず残念にも落選
せり。

B組

- 一 園田(八商)
- 二 富士原(彦中)
- 三 三川本(彦商)
- 四 田中(彦商)

富士原、園田に肉迫せしも惜しいかなタツチ
の差にて一着をゆすり入選。

二百米胸泳豫戦

A 一着 磯田(八商)

タイム三分十九秒二

二着 吉川(彦中) 三分二十一秒四

三着 近藤(彦商) 三分三十秒五

吉川百五十米までトップなりしが最後の頑張
り弱く惜しくも二着にて入選。

B 一着 渡邊(彦商)

タイム三分二十一秒五

二着 内山(彦中) 三分二十九秒四

三着 中村(八商)

内山よく渡邊につく初めての出場なれど好調
なり。

二百米胸泳決勝

一着 彦商 タイム二分十四秒

二着 彦中 二分十五秒

(富士原、福川、山原兄、山原弟)

三着 八商 二分十八秒

トップ富士原、スタートダッシュにて斷然他
をリードせしがラストにて身体の自由きかず
惜しくも二位なり。續いて福川ぐんぐん敵に
追いつき山原今にも抜かんと頑張りしが敵も
去るもの此の追従を許さず、山原日頃練習せ
る胸を以て遮二無二力泳せしが惜しくも二着
となる。練習タイム出す、自信ある實力を有
しながら二着になるも残念なり。堂々トッ
プ(得点)彦商四点、本校三点、八商二点
二百米胸泳決勝

一着 中村(八商)

タイム三分十八秒三

二着 吉川(彦中) 三分二十三秒二

三着 渡邊(彦商) 三分二十四秒

四着 内山(彦中) 三分三十二秒

吉川百五十迄他をリードせしがラストにて中
村に破らる。得点彦商七点、本校八点、八商
六点

千五百米自由型決勝

一着 清水(八商)

二着 藤本(彦中)

三着 新家(彦中)

藤本、新家長距離に自信あれどもラストあま
りきかず、一着を八商に譲る。

得点八商十点、本校九点、彦商三点

二百米自由型決勝

一着 山原 タイム二分三十八秒二

二着 開發 二分四十八秒五

三着 山本

四着 西村 三分三秒

山原八百リレー、三百メドレーの爲樂に泳げ
ども斷然他をリードして一着。

得点八商八点、彦中八点、彦商五点

四百米自由型

一着 山原兄(彦中) タイム六分十秒

二着 朝見(彦中) 六分二十七秒
三着 廣道(八商) 六分四十秒
四着 久保田(彦商)

山原スタートより他の追従をゆるさず断然トツプ、つゞく朝見も相手なくして確實に二着の位置をしむ。得点本校十三点、彦商四点、八商四点

八百米混合決勝
一着 本校 富士原、山原、朝見、山原弟
二着 彦商
三着 八商
朝見まで二着、一着との差七十米。山原日頃ロングできたえし敏腕を發揮すべきはこの時とばかり頑張!! 頑張!! タツチの差にて一着。得点彦中四点、彦商三点、八商二点
三百米混合決勝
一着 彦商
二着 本校
三着 八商

山原先刻の疲れも顔に現さず二着になり、吉川頑張りしもその功成らず遂に二着。得点彦商四点、本校三点、八商二点 計本校五五点八商四九点、彦商四九点
嗚呼!幾多の努力は酬ひられた。堂々ミ他

るべき年にそなへん頑張りました。
千五百に覇權を握りし山原忠雄君は選抜されて京都對滋賀縣の對抗競泳大會に出場し決定。

京滋中等學校對抗競泳大會

昭和十年七月三十一日午後一時
於 栗太農學競泳池

府縣學務部長を會長とする當對抗水上戦は往時より追ひつ追はれつの白熱戦、昨年は引分大會初まつてより四勝四敗、將に日米對抗を思はせる熱戦、當日實に氣温三十度突破、真中の酷熱下に、栗太原頭に於て兩軍必死となりて戦へり。然して勝利は我に。その殊勳の勝利者山原君、我が彦中の代表として一躍にして縣下の花形選手に、彼の小炬を以て、大敵にあたり少しも騒がず、何者にも恐れぬ面魂を持つてよく驅逐したその頑然りは賞讃せざるを得ぬ。此の日四百、八百兩自由型に於て山原斷然一着をしめ本校の名譽を背負ひ又滋賀軍の爲に萬丈の氣をはき、よくその任務をはたしてくれた事を感謝す。

- 一 山原 五分三十秒(滋)
- 二 自由型

を壓し遂に覇權を獲得し今や完全に去年の恥辱を雪ぎ得た事は實に痛快の限りなり、輝く優勝カップは主將の手に授けられ意欲深き大會の幕は閉ぢられたり。このカップを眺める時、一同思はず微笑せざるを得ず、希くは後進選手諸君よ、勝つて胃の緒をしめ、各々の榮譽を我が部より離さず永遠に確保せられん事を勉められよ。

「今日の吾が母校に凱歌を擧げるを得たるは選手一同の意氣と熱と汗と涙によるたまものなり併しその裏面に、渡邊先生部長殿を初め林、森、杉本、井口先輩の吾が子の如く愛撫鞭撻下された賜物であることを忘れること勿れ」。

縣下中等學校競泳大會 參加之記

先に湖東の覇權を握りし我が部勝利に意氣大いに揚り。練習をばげむ、七月二十六日猛暑をおかして戦の地八日市中學へ、この日天氣晴朗なれどもブルコンデイション悪し。豫戦にて吉川、山原、富士原の力泳及ばずして失格、決勝に残りしは僅に四種目のみ、決勝戦成績左の如し。

- 二小谷 (京) 十二分三秒
- 一山原 十一分十九秒八(滋)
- 二小谷 (京) 十四分三六秒
- 七十二点——六十四点にて滋賀軍に凱歌は上る。

水口中學對本校對抗試合 成績

來年度水泳界(縣下)覇をこなえんものこ八月末新チームを組織し、先きに彦商と對抗試合を行ひわずかに二点の差を以て惜敗したのである其の後更に練習を積み九月十六日縣下の強豪水中に遠征せり。
二百米リレーを以て試合は開始された。
1 水中チーム 木村、木下、中山、上村
2 彦中チーム 山原、吉川、西村、朝見
3 タイム二分八秒九
4 二一分四秒二
山原、吉川良く敵を屈せしめ、西村、朝見強敵中山、上村の爲に破らる。得点水中四点、本校〇点
八百米自由型
1 山原(本校) タイム十一分二秒三

二〇〇メートルに於て入選せしも福川家事の都合にて出場不可能。善戦せしも得点一点四百米自由型決勝
豫戦を他を斷然引きはなした朝見君、スタートよりラストまで終始ベストをつくせしも五着にて終る。得点二点、タイム六分二十一秒。

千五百米決勝 タイムレース
山原終始他を壓し見事一着。タイム二十五分五秒。
自己の練習記録を三十秒もちぢめ、二着との差百米。得点六点
八〇〇リレー
全員よく頑張り四着、得点三点。
三百米メドレーリレー
オールメンバー最後迄よく戦ひしも六着にて、得点は一点、總計十三点。縣下七点の不成績に泣を込んで退場した。あ、今年も栗農に覇權を握られた、又不運にも湖東大會に一步をゆすらなかつた彦中が縣下の大會に於て彦商に勝ち越されたのは實に残念だつた、然し來るべき黄金時代には縣下の覇者たらんことを希願ひ、八月に入るや設備不完全な琵琶湖にて再び前にも勝る猛練習を、而して來

- 2 上村(水中) 十二分三秒
- 3 新家(本校) 十二分五三秒
- 4 藤本(本校) 十四分三六秒
- 5 北西(水中)
- 6 中村(水中)
- 山原最初より他を壓し上村これにつき新家上村に次ぐ、藤本練習不足にもかかはらず北西中村を破りて四点を得。得点本校十三点、水中八点

- 二百米自由型
- 1 上村(水中) 二分四十秒
- 2 朝見(本校) 二分五二秒
- 3 倉橋(本校) 三分三秒
- 4 西村(本校) 三分三秒四
- 5 木下(水中)
- 6 地平(水中)
- 上村グッシュにてトツプに出、朝見これを追ふ。倉橋、西村、木下、地平と並び接戦、百五十米までほんご平行、タイム終るや、倉橋、西村ラストスパートに入り猛烈なるヒツチ遂に倉橋タツチの差にて西村ゴールに入る得点本校十二点、水中九点
百米背泳
1 中山(水中) 一分二十一秒

- 2 木 村(水中) 一分三十一秒
- 3 藤 本(本校) 一分四十二秒
- 4 吉 川(水中)
- 5 北村久(本校)
- 6 北 村(本校)

藤本、背泳界に身を轉じて未だ日なほ淺く一
二着は水中軍に下つた。得点本校七点、水中
十四点
八百米リレー

- 1 彦 中(朝見、新家、倉橋、山原)
- 2 水 中(中村、木下、中山、上村)

先きに二百米リレーに破れし我等は最後の八
百米リレーには死しても勝たんと一同誓ふ。
西村出場前、身体に故障を生ず、倉橋これに
變る。トツプ朝見スタートするやスタートダ
ッシュ猛烈にピツチを上げ三十米にて早くも
中村を五米引き離し百五十よりのラストス
パートにてさらに十五米離して新家に受け次ぐ
新家ダッシュにて二十五米に差をのばしさら
にゴールにては三十米の差を作りて倉橋につ
ぐ、倉橋賢明の力泳、獨特のピツチラストス
パート、強敵中山の追撃をゆるさず。山原ラ

許せ！ 吾等の不成績を！

本年度の大會出場回数僅に三回、西部中等
學校競泳大會に山原の出場を慫せし許され
ず、各大會は一勝二敗、縣下では七位の敗戦
の憂き目を見た、残念だ。
然し此の縣下の不成績の後を受けた新チ
ームの活躍。その活躍を期待し僅に心を慰め卒
業して行くものである。下級部員諸子よ、良
く主將の命を守り我々、否先輩、並びに水泳
部諸先生の期待にそむかぬ標頑張つて下さい



ストだ「よし来た」さばかりにぐんぐんのび
遂に差を四十米に引き離してゴールイン。我
等は思はず萬才をさげんだ！

得点 彦中四点、水中の点
總計 本校七十三点、水中六十三点

戦は終つた、我等は勝つた縣下の強豪水中
を七三對六三にて完全にほうむつたのである
先きに彦商に破れて以來の努力はむくいら
れた。此の日の新チーム團体新記録二つ、個人
自己新記録九つの快勝。此の大勝利を以て本
年度シーズンを終る。

シーズン終りて昨年、上級部員を失ひし我
が部は不振の年を終り今年こそ、彦中水泳部
中興の業を起さんものと、春には森、杉本兩
先輩のコーチの元に、福川マネーチャを向へ
て練習、立派なる基礎を得た我が部が六月の
高商主催近縣大會には四位、非常な好成绩に
湖南の豪、膳所中をやぶり、殊に小壯山原を
して栗太の長距離陣に驚異の眼をはらしめた
湖東大會には昨年の屈辱戦を行ひ意氣大いに
上りしに、許せ縣下大會の成績を！然し善く
戦へり、小壯なる戦士、若き我が水泳部だ、
未來があるのだ、未來に於て向上、發達する
のだ、一昨年黄金時代を逃がして以來、不振

の彦中水泳部だつた、然し我々は再び黄金時
代の樹立を計り部員の増員に、練習に豫備運
動に未來の希望に生きて、精進しつゝあるの
です。新チーム我々の期待せる新チームの陣
營は、中、距離に縣下の雄、山原、朝見家庭

の狀態に止むを得ず中途退學せし新家、秋期
練習に山原を凌がんとする元氣を見せた新家
だつたが、そしてこの缺を完全にふせいでほ
しいのだ、現在の二年生に、我々思はんもの
は進んで入部せられよ、然し中距離には西村
型の真い倉橋、元氣な頑張りのある廣瀬、柳
田、池野が完全に且十分なる意氣を示して下
れることだらう。バック(背泳)陣は、長き
不振の後に泉の如くわき出た藤本君によつて
満足されるだらう。胸泳には彦中記録保持者
の主將吉川君、又これを足下に置かん力む
内山君は吉川君卒業後も胸泳陣には寸分のゆ
りみも見せぬ、又その後継者に新進高橋この
秋入部せられまだ日も淺いが、その元氣さ、
近代的な型はきつと縣下の覇をねらふに十分
だと思ふ。かくして缺は完全に補はれ近來に
ない充實した陣容である。ここに完成に近き
までに漕ぎつけた新チームの來年、來年度に
於ける活躍振りを期待せられよ。



雜錄

◎校友會役員

會長 足立芳之助先生
副會長 松田彦三郎先生

學藝部

部長 寺本先生
理事 居井先生

委員(五年) 安藤權一
(四年) 門野美喜藏
(三年) 中川敬一 郎

雜誌部

部長 尾田先生
理事 平井先生
委員(五年) 目加田一雄
上村文太郎

林 榮一
藤井佐一 郎
北村忠夫

島津亮二
廣部智彰

圖書部

部長 平井先生
理事 今野先生

委員(五年) 勝田敬三
(四年) 內池薄美
(三年) 原田灯一

田村豐治
山川茂
橫田繁勝

太田先生
村山先生
內田先生

橋本真雄
望月實
丸野房松

宮原先生

青山正彦
長谷川千勝
(三年) 山川繁
松本顯美

有川正康
西島雅弼
西關藤一

丸山吉夫
中村音次郎
小林研一

谷澤英夫
中川禮三
狩野武

中島午郎
島本光高
石田康祐
谷澤益男

野球部

部長 猿山先生
理事 柏島先生
委員(四年) 千原先生
(三年) 安居憲三
太田英夫
馬場兼吉
上杉英造

大日方正明
上杉襄司

庭球部

部長 佐藤先生
理事 大崎先生
委員(四年) 池田博
(三年) 木村俊茂

馬場 晃
槌田喜穗

競技部

部長 丸茂先生
理事 居井先生
小松原先生

水泳部

部長 白井先生
理事 後藤先生
渡邊先生
杉原先生

委員(五年) 富士原知
(四年) 吉川長幸
(三年) 朝見伸夫

山原仁雄
宮西正一
山原忠雄

◎學校日誌抄

- 一月一日 新年拜賀式
- 八日 第三學期始業式
- 十日 武道賽稽古開始
- 十九日 武道賽稽古納式、武道大會
- 廿八日 杉本縣教育課長來校
- 二月九日 五年(新三卒業すべき生徒)豫餞會
- 十一日 紀元節招賀式
- 十三日 第三學年父兄會
- 十六日 第五學年考查開始

廿一日 第五學年考査終了、同校旗ニ對スル告別式、全校
 閣下分列式
 三月一日 第四學年考査(五日間)
 六日 第四學年修業式
 七日 第四十七回卒業式
 十日 陸軍記念日、配屬將校竹内先生講演
 十三日 第三學年以下考査(五日間)
 十六日 同上修業式
 廿三日 進級發表
 廿六日 入學考査第一日
 廿七日 入學考査第二日
 廿八日 同上合格者發表

五月五日 第四學年修學旅行出發
 七日 全校行軍
 十一日 招魂社參拜
 十四日 縣參事會會計檢査
 廿四日 第四學年修業旅行歸校
 廿七日 第一學期中間考査(五日間)
 海軍記念日講話
 會計檢査
 同上
 御親閱記念團分列式
 橋本先生新任式(虎姫中學ヨリ)
 時ノ記念日、講話
 小學校連絡會

四月八日 町田先生告別式(水日中學)
 大森先生告別式(虎姫中學)
 原田先生新任式(長野縣ヨリ)
 始業式
 入學式
 滿洲國皇帝陛下驛頭奉送迎
 第五學年父兄會
 天長節拜賀式
 第四十八回創立記念日
 端艇大會
 太田先生告別式(秋田師範)

七月五日 第一學期末考査(五日間)
 縮短授業開始
 第一、二學年水泳開始
 水泳納式
 學期末團分列式
 配屬將校竹内先生告別式(歩兵第三十六聯隊大隊
 長)
 終業式
 配屬將校川崎先生新任式(騎阿第九聯隊ヨリ)
 第二學期始業式
 同窓會總會

七月 縮短授業終了
 十四日 第五學年兵營宿泊(四日間)
 十八日 滿洲事變記念日、川崎先生講演
 十九日 第四學年父兄會
 廿日 警備演習
 廿五日 第一學年父兄會
 廿六日 中村縣總務部長視察
 廿七日 第四、五學年縣下中等學校聯合演習參加(二日間)
 招魂社參拜
 陸上大運動會
 十月 十三日 神宮遙拜
 十六日 第二學期中間考査(五日間)
 廿九日 文部省地理科視學委員奈良女高師西田教授視察
 三十日 教育勸語奉讀式
 十一月 一日 熱田神宮遷座祭遙拜式、訓話
 三 明治節拜賀式
 體育テ、全校長距離競走
 行幸啓記念日武道大會
 廿六日 茨城縣師範學校長視察
 廿八日 第二皇子殿御誕生遙拜式
 十二月 十一日 下村文部督學視察
 十四日 學期末考査開始
 十九日 學期末考査終了
 二十四日 終業式

◎校友會會計

昭和十年度校友會豫算

賞園衛水競庭野端武雜圖學出	賞園衛水競庭野端武雜圖學出	賞園衛水競庭野端武雜圖學出
品發生泳技球球艇道誌書藝算	品發生泳技球球艇道誌書藝算	品發生泳技球球艇道誌書藝算
費部部部部部部部部部部	費部部部部部部部部部部	費部部部部部部部部部部
收入	支	計
前年度繰越	前年度繰越	前年度繰越
職員會費	職員會費	職員會費
生徒會費	生徒會費	生徒會費
入會金	入會金	入會金
利子	利子	利子
四七六・一五	四七六・一五	四七六・一五
一六二・八〇	一六二・八〇	一六二・八〇
四、二九〇・〇〇	四、二九〇・〇〇	四、二九〇・〇〇
三一〇・〇〇	三一〇・〇〇	三一〇・〇〇
二二〇・〇〇	二二〇・〇〇	二二〇・〇〇
五、二六〇・九五	五、二六〇・九五	五、二六〇・九五
一二〇・〇〇	一二〇・〇〇	一二〇・〇〇
二八三・〇〇	二八三・〇〇	二八三・〇〇
三四一・〇〇	三四一・〇〇	三四一・〇〇
四二四・〇〇	四二四・〇〇	四二四・〇〇
六八六・〇〇	六八六・〇〇	六八六・〇〇
七九八・〇〇	七九八・〇〇	七九八・〇〇
三四五・〇〇	三四五・〇〇	三四五・〇〇
二五九・〇〇	二五九・〇〇	二五九・〇〇
一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一七〇・〇〇
三〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇	三〇〇・〇〇
一五〇・〇〇	一五〇・〇〇	一五〇・〇〇
一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇

卒業式費並豫備會費	二〇〇・〇〇
陸上大會費	二〇〇・〇〇
遠足費	三五・〇〇
道具費	一〇〇・〇〇
庭球コート及運動場修理費	四〇〇・〇〇
雜費	三〇〇・〇〇
豫備費	二一九・九五
五十周年記念式積立	一〇〇・〇〇
計	五、二六〇・九五
特別會計	
端艇新造費繰越	二六二・八二
五十周年記念式費繰越	四一七・四四
計	六八〇・二六

編輯後記

×雲間から日光が漏れて冷たい編輯室に射し込む。凍った手を息で温めてやつぱり忙しい編輯を終つた。
 ×ゴタ／＼した原稿の山を讀んで、ほぐして、整理する。投稿が一部の人に偏するので又整理し直す。没書没書、採用、採用、再びゴタ／＼になる。
 ×例によつて平凡な出来であり、斷じて派手でない校友會誌第四十五號、たゞ本誌には毛色を變へて郷土セクシヨンを添へた。雜誌部員の合作ながら不出來であつた。
 ×原稿はもつときれいに書いて欲しい。
 ×雜誌部の先生のお骨折をすまぬと思つた。
 來年は本校の創立五十周年に當る。シツカリした編輯で讀みごたへのあるものを出したいと思ふ。
 ×諸君の多幸を祈る。

(廣部智彰)

豫告

次號は時恰も本校創立五十周年といふ實に目出度い年に當りますので、本誌も之を記念し祝賀するため、特別號として體裁内容を改めて皆さまにお目にかゝる豫定になつてゐます。で投稿に就てもすべて右に因める文章、詩歌、俳句でありたいと思ひますから、今からその心構を以て準備をし、締切期日に遅れぬやう奮つて多數應募して下さい願ひします。詳細に亘つては、何れ後刻申上げること致します。

校友會雜誌部

明治廿七年五月三十日内務省認可
 昭和十一年一月八日印刷 (非賣品)
 昭和十一年二月十一日發行
 滋賀縣立彦根中學校内
 編輯兼發行所 尾田鶴治郎
 印刷者 滋賀縣彦根五番町六二ノ一 村下 斯朗
 印刷所 滋賀縣彦根五番町六二ノ一 村下印刷所
 發行所 滋賀縣彦根町 滋賀縣立彦根中學校校友會

